

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>府民の期待に応える学校づくりの推進</p> <p>1 「個を活かし、公に生きる」人間の育成</p> <p>2 「グローバルに活躍する」人間の育成</p> <p>3 感じる力、考える力、行動する力、向上する力、関わる力（5K力）の育成</p> <p>4 「学力の向上」と「希望進路の実現」の達成</p>	<p>(成果)</p> <p>1 京都大学3名、大阪大学3名をはじめ、神戸大学4名、名古屋大学1名、京都工芸繊維大学5名、岡山大学6名、広島大学7名、京都府立大学4名など、国公立大学に91名が合格し、関関同立に現役で88名（のべ人数）が合格するなど、多数合格した。本校の進路指導の実績を積み上げることができた。（合格者数は現役生のみ）</p> <p>2 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）事業の共同実施校の指定を受け、スマートAPの連続講義や海外インターンシップ事業等に積極的に参加し、イノベティブなグローバル人材育成の機会となった。</p> <p>3 「スーパーサイエンスネットワーク京都」校の取組として、昨年度から引き続き京都府北部の3校で地元地域において成果発表の機会を設けているが、南部地域の生徒も含め交流することもできた。</p> <p>4 部活動ではコロナ禍の影響が大きかったが、部活動加入率は86%と高く、近畿大会や全国大会で素晴らしい活躍をする生徒もあった。</p> <p>5 Webを活用して学校外の機関等と連携する実践を積み重ねることができた。</p> <p>6 進路指導では、授業を柱に面接指導、小論文指導、面談、にじゼミを含む講習等など、学年部と進路指導部、教科担当を中心に学校全体で取り組むことができた。</p> <p>(課題)</p> <p>1 新学習指導要領に対応し、「主体的・対話的で深い学び」の実現や観点別評価による生徒の主体的な学習を促進する取組を充実させる。</p> <p>2 前期選抜（普通科3.8倍、文理科学科1.2倍）、普通科の中期選抜では1.1倍であり、定員を上回る志願があった。さらに志願者が増えるよう本校の魅力をしっかり伝え、生徒募集体制を充実させる必要がある。</p> <p>3 ICT活用では、プロジェクタや1人1台学習用端末の効果的な活用を行う。</p> <p>4 教職員の働き方改革を進め、魅力ある職場で子どもたちに豊かな教育ができるように努める。</p> <p>5 防災訓練等を通じて、生徒及び教職員が防災意識を高めていけるよう安心・安全な学校づくりに努める。</p>	<p>1 学力の向上と希望進路の実現</p> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、<u>確かな学力を育む</u>。</p> <p>(2) ICTを効果的に活用した授業改善を推進する。</p> <p>(3) 自ら目標を設定させ、主体的に学習に向かう姿勢を育むことにより、一人ひとりの希望進路実現を目指す。</p> <p>2 特色ある取組の充実</p> <p>(1) 普通科みらい考や文理科学科みらい学をより一層充実させ、SDGsの視点を踏まえて社会や地域の課題を自分事として捉え、<u>課題解決に向けて行動する姿勢を養う</u>。</p> <p>(2) WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）事業共同実施校として、海外の大学等との連携など国際理解教育の機会を充実させ、グローバル人材の育成を図る。</p> <p>(3) <u>医学進学・教員養成・国際理解・地域連携の各プログラム</u>をはじめとするキャリア教育を充実させ、<u>将来や社会への理解を深め、進路意識を高める</u>。</p> <p>3 豊かな心を育む教育の実現</p> <p>人権意識を高め、自他を敬愛する心やいのちを大切にすること、公共性や社会貢献の精神を育み、共生社会に必要な力を育成する。</p> <p>4 学校組織の改善と見直し</p> <p>教職員の資質・能力及び学校全体の教育力向上のため、中高各分掌・教科の在り方を含めた業務改善と効率化を図る。</p> <p>5 適正な学校運営と安心・安全な学校づくり</p> <p>全教職員が危機管理意識や防災意識を持ち、日々の点検に努め、適正な学校運営にあたる。学校防災や感染症対応など、生徒・保護者・教職員が共通認識をもつことにより、危機管理体制を確立し、安心・安全な学校を作る。</p> <p>6 家庭・地域・関係機関との連携の強化</p> <p>(1) 積極的に家庭連絡・家庭訪問を行うなど、家庭との連携を密にして信頼関係を築く。</p> <p>(2) 地域連携やボランティア活動等を通して、<u>地域や社会の一員であることをことを自覚させ、使命感を持たせる</u>。</p> <p>7 中高一貫教育の推進</p> <p>中高6年間を見据えて資質・能力の育成するとともに、中高一貫教育校のよさを活かして全体の活性化を図る。</p>

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価		成果と課題																
組織・運営	<p>新しい時代に必要となる資質、能力の育成のための「主体的・対話的で深い学び」の実現やBYOD等のICT有効活用を学校全体で組織的に取り組む。</p>	<p>みらい考やみらい学をはじめとする教育活動全般を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現するとともに、ICTを効果的に活用した授業改善を進める。</p> <p>[主体的・対話的で深い学びを実践したと実感した割合]</p> <table border="1" data-bbox="831 373 1391 443"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>70%以上</td><td>69～50%</td><td>49～25%</td><td>24%以下</td></tr> </table> <hr/> <p>[ICTを授業等で積極的に活用したという割合]</p> <table border="1" data-bbox="831 517 1391 587"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>80%以上</td><td>79～60%</td><td>59～40%</td><td>39%以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	70%以上	69～50%	49～25%	24%以下	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	39%以下			
A	B	C	D																		
70%以上	69～50%	49～25%	24%以下																		
A	B	C	D																		
80%以上	79～60%	59～40%	39%以下																		
	<p>生徒の確かな学力を育むための教職員の資質・能力の向上と、学校全体の教育力向上のために、分掌や教科、個人が互いに連携を密にし、教育活動に取り組む。</p>	<p>学習や生徒指導、学校運営等において、附属中を含む各教科や各分掌、個人間で連携を深め、教育活動及び業務の改善化を図り、個々の教職員の資質と能力の向上に繋げる。</p> <p>[自己の資質・能力が向上したと実感した割合]</p> <table border="1" data-bbox="831 836 1391 906"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>70%以上</td><td>69～50%</td><td>39～25%</td><td>24%以下</td></tr> </table> <hr/> <p>[分掌や教科、個人の連携が充実したと実感した割合]</p> <table border="1" data-bbox="831 979 1391 1050"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>70%以上</td><td>69～50%</td><td>49～25%</td><td>24%以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	70%以上	69～50%	39～25%	24%以下	A	B	C	D	70%以上	69～50%	49～25%	24%以下			
A	B	C	D																		
70%以上	69～50%	39～25%	24%以下																		
A	B	C	D																		
70%以上	69～50%	49～25%	24%以下																		
	<p>学校の魅力を更に高め、積極的・効果的に発信する。</p>	<p>授業や課外活動、特色ある取組を更に充実させ生徒の学びを深める。それらの学びの魅力や特色を学校説明会や広報紙、HPにより積極的に発信する。</p> <p>[学校評価アンケート（保護者）『本校の取組が十分に発信されている』のプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="831 1315 1391 1385"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>80%以上</td><td>79～50%</td><td>49～30%</td><td>29%以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～50%	49～30%	29%以下											
A	B	C	D																		
80%以上	79～50%	49～30%	29%以下																		

<p>教務部</p>	<p>学力向上に向け、授業改善と主体的な学習態度の育成に努める。</p>	<p>学力向上のため学年部と連携し、ガイダンスを積極的に実施する。指導実践を共有し、生徒の学習意欲を高める指導の工夫・改善につなげる。 [授業アンケート『主体的な学習活動に関する質問』に対する生徒の自己評価のプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="831 280 1395 357"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3.6%以上</td> <td>3.0～3.5%</td> <td>2.5～2.9%</td> <td>2.4%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3.6%以上	3.0～3.5%	2.5～2.9%	2.4%以下											
A	B	C	D																		
3.6%以上	3.0～3.5%	2.5～2.9%	2.4%以下																		
	<p>今年度から実施の新教育課程に関わる、評価の在り方やBYOD等のICTの効果的な活用に向けて研修を進める。</p>	<p>学習指導の改善が生徒の学習意欲・学力向上に繋がるよう、校内での研修の機会を増やし、各教科間や分掌、学校全体で教育力向上を目指す。 [学校評価アンケート（生徒）『学力向上に関する取組』のプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="831 571 1395 647"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>98%以上</td> <td>96～97%</td> <td>94～95%</td> <td>93%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	98%以上	96～97%	94～95%	93%以下											
A	B	C	D																		
98%以上	96～97%	94～95%	93%以下																		
	<p>個に応じた指導を大切にし、成績不振をなくす。</p>	<p>学習方法の指導や個に応じた指導を丁寧に進め、成績不振による単位不認定者をなくす。長期休業中の補充授業をより効果的な取組にする。 [成績不振による単位不認定者数]</p> <table border="1" data-bbox="831 821 1395 898"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1～2人</td> <td>3～4人</td> <td>5人以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0人	1～2人	3～4人	5人以上											
A	B	C	D																		
0人	1～2人	3～4人	5人以上																		
<p>生徒指導部</p>	<p>安定した学校生活が進路実現につながるという観点に立ち、特に時間管理(遅刻指導)と社会的マナー意識(身だしなみ等)の向上を図る。</p>	<p>【遅刻指導】学年団と連携しながら多角的に指導することで、余裕をもった登校を促す。 【あいさつ指導】全教職員で協力した身だしなみ等の指導を行うとともに、生徒たちが日頃の挨拶を積極的にできるようにしていく。 [学校評価アンケート（生徒・保護者）『規範意識・挨拶・マナーは向上しているか』ののプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="831 1185 1395 1262"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table> <hr/> <p>携帯情報端末、特にSNSの正しい利用に関する啓発活動を積極的に行う。 [生徒によるセルフチェックの回数]</p> <table border="1" data-bbox="831 1406 1395 1482"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6回以上</td> <td>5回</td> <td>4回</td> <td>3回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	49%以下	A	B	C	D	6回以上	5回	4回	3回以下			
A	B	C	D																		
90%以上	89～70%	69～50%	49%以下																		
A	B	C	D																		
6回以上	5回	4回	3回以下																		

<p>学校生活が安心、安全なものとなるよう、特に交通安全について意識の向上を図る。</p>	<p>交通事故を防止し、交通マナーの向上を進める啓発活動を継続的に行う。特に登校時の松縄手交差点での指導と下校時の正門・福知山重工付近での指導を行う。 [学校評価アンケート（生徒・保護者）の『通学マナーはよいか』のプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="831 368 1395 440"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～50%	49%以下				
A	B	C	D										
80%以上	79～60%	59～50%	49%以下										
<p>「5K力」の育成のため、特別活動（生徒会活動・部活動・ボランティア活動）の活性化を図り、将来、地域社会を支える自覚と創造力を兼ね備えた使命感を持たせる。</p>	<p>生徒会執行部の活動を活発化させ、生徒が中心となる生徒会活動(特に福高祭)を充実させる。コロナ禍でできることを模索し、多くの生徒がボランティアに参加できる機会を増やす。 [学校評価アンケート（生徒・保護者）の『部活動・ボランティア・学校行事の充実度』のプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="831 692 1395 764"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	49%以下				
A	B	C	D										
90%以上	89～70%	69～50%	49%以下										
<p>進路指導部</p>	<p>生徒が希望進路の実現に向けて前向きな姿勢で歩み、自ら考え、行動する力を育てられるような進路指導を行う。</p>	<p>第3学年部や教科担当者との連携を密にして生徒の希望進路実現を図る [4月実施の進路希望調査で国公立大学を志望した生徒の合格率]</p> <table border="1" data-bbox="831 975 1395 1046"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>65%以上</td> <td>55～64%</td> <td>40～54%</td> <td>39%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	65%以上	55～64%	40～54%	39%以下			
A	B	C	D										
65%以上	55～64%	40～54%	39%以下										
<p>1、2年生の進路意識を向上させる。</p>	<p>夢を抱いて頑張る生徒を育成する。 [11月実施の1・2年生進路希望調査で、未定と回答する生徒の割合]</p> <table border="1" data-bbox="831 1187 1395 1259"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0～3%未満</td> <td>3～5%未満</td> <td>5～7%未満</td> <td>7%以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0～3%未満	3～5%未満	5～7%未満	7%以上				
A	B	C	D										
0～3%未満	3～5%未満	5～7%未満	7%以上										
<p>保健部</p>	<p>生徒が健やかで安心・安全な学校生活を送ることができるよう、自らの健康や安全に対する意識の向上を図る。</p>	<p>生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう、病気や怪我の予防、また、授業・部活動登下校時の災害防止に努める。定期的に「ほけんだより」、「安全だより」を発行し、健康、安全に</p>											

		<p>関する注意喚起を行う。</p> <p>新型コロナウイルス等感染症の拡大防止のため、啓発活動、健康観察、体調不良者への対応等に全校体制で取り組むことができるよう、情報提供や提案を行う。</p> <p>健康診断結果に基づく要治療・再検生徒の受診率の向上を目指す。</p> <p>[歯科 要治療生徒の受診率]</p> <table border="1" data-bbox="801 400 1350 475"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20%以上</td> <td>19～15%</td> <td>14～10%</td> <td>10%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	20%以上	19～15%	14～10%	10%未満		
A	B	C	D									
20%以上	19～15%	14～10%	10%未満									
	<p>環境教育の充実を図り、校内美化に対する意識を高め、学習環境作りに努める。</p>	<p>教室、トイレ、廊下等の校内清掃、また感染症予防のための消毒を確実にを行い、校内の衛生管理に努める。</p> <p>保健委員による教室の衛生管理、清掃点検、安全点検等の活動を定期的に行う。</p> <p>[保健委員の年間活動回数]</p> <table border="1" data-bbox="801 724 1361 799"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20回以上</td> <td>19～15回</td> <td>14～10回</td> <td>10回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	20回以上	19～15回	14～10回	10回未満		
A	B	C	D									
20回以上	19～15回	14～10回	10回未満									
<p>人権教育部</p>	<p>様々な人権問題についての正しい理解や認識を深め、人権尊重の実践的態度を養う。</p>	<p>学年部や他分掌との連携を深め、人権学習の教材や指導方法の改善に努める。</p> <p>[学校評価アンケート（生徒）の生徒の人権学習に対するプラス評価平均]</p> <table border="1" data-bbox="801 1007 1361 1082"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>75%以上</td> <td>75%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	80%以上	75%以上	75%未満		
A	B	C	D									
90%以上	80%以上	75%以上	75%未満									
	<p>各種援護制度の周知と活用を図り、就・修学の保障に努める。</p>	<p>援護制度について、広報を充実させる。</p> <p>[プリント、メール及びホームページの活用]</p> <table border="1" data-bbox="801 1182 1361 1257"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8回以上</td> <td>7～5回</td> <td>4～2回</td> <td>1回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	8回以上	7～5回	4～2回	1回以下		
A	B	C	D									
8回以上	7～5回	4～2回	1回以下									
	<p>教職員の人権意識の高揚を図り、指導力の向上に努める。</p>	<p>教職員人権研修を充実させ、教職員の指導力向上を図る。</p> <p>[教職員人権研修の実施]</p> <table border="1" data-bbox="801 1390 1357 1465"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3回	2回	1回	0回		
A	B	C	D									
3回	2回	1回	0回									

		<p>[人権教育推進会議及び合同部会の実施]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>9回以上</td> <td>8～6回</td> <td>5～3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	9回以上	8～6回	5～3回	2回以下											
A	B	C	D																		
9回以上	8～6回	5～3回	2回以下																		
総務企画部	<p>本校の特色ある取組や、生徒の充実した学校生活の様子を地域の方や中学生、その保護者等に正しく知ってもらえるよう広報誌(福高だより、学校案内)やホームページによる情報発信、各種説明会を工夫し発展させる。また、本校生徒その保護者に対しても同様に本校の取組等をこれまで以上に知ってもらえるよう広報誌(福高タイムズ)の配信、ホームページの更新等に努める。</p>	<p>在校生とその保護者に本校の活動の様子をよりよく知ってもらうために、分掌内外の連携を強化し、ホームページや福高タイムズ等を媒体に積極的に情報発信することで広報に関する満足度を高める。</p> <p>[学校評価アンケート(保護者)『ホームページ等 広報』のプラス評価平均]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </table> <p>ホームページや学校案内、広報誌(福高だより)、中学生対象の説明会等の広報に関わる様々な取組の内容を充実させることで、本校の魅力を正しく知ってもらえるよう努め、本校全体の志願者の増加を目指す。</p> <p>[前期選抜(文理科学科)の志願者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>50人以上</td> <td>45人以上</td> <td>40人以上</td> <td>40人未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満	A	B	C	D	50人以上	45人以上	40人以上	40人未満			
A	B	C	D																		
80%以上	70%以上	60%以上	60%未満																		
A	B	C	D																		
50人以上	45人以上	40人以上	40人未満																		
	<p>分掌内外の連携を密にし、高校と附属中学校の広報や生徒募集を有機的に機能させる。</p>	<p>部会を定期的開催し、日常的に部内の意思疎通を図ることで、部全体が共通認識を持ち、協力的体制のもと業務に取り組んでいけるよう努める。</p> <p>[分掌会議の実施回数(作業を除く)]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>40回以上</td> <td>35回以上</td> <td>30回以上</td> <td>30回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	40回以上	35回以上	30回以上	30回未満											
A	B	C	D																		
40回以上	35回以上	30回以上	30回未満																		
みらい探究部	<p>普通科の総合的な探究の時間「みらい考Ⅱ」について、学習計画を立て、PDCAサイクルを回してスタイルを完成させるとともに、「みらい考」の深化とⅠ、Ⅱの繋がりを果たせる。</p>	<p>普通科の探究的な学習の時間の内容を計画・実施し、課題設定力・課題解決力・表現力の育成を組織的・系統的に実施する。</p> <p>【実社会や実生活と自己との関わりを通じて課題を見出すことが出来たと感じた生徒数の割合】</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>85%以上</td> <td>80%以上</td> <td>80%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	85%以上	80%以上	80%未満											
A	B	C	D																		
90%以上	85%以上	80%以上	80%未満																		

	<p>文理科学科の総合的な探究の時間「みらい学Ⅰ」「みらい学Ⅱ」を通して「課題研究リテラシー」の向上を図るとともに、研究内容の充実・深化をはかり、外部発表や課題解決の実現に向けた『行動する力』を重視する。</p>	<p>課題研究に必要なスキル（研究の進め方や発表の仕方、評価の方法等）を身に付けるプログラムを工夫・改善する。また、より多くの外部発表を行い、研究成果を外部に発信する。</p> <p>【外部発表、実現に向けて行動した数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5つ以上</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ以上</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	5つ以上	3つ以上	1つ以上	0		
A	B	C	D									
5つ以上	3つ以上	1つ以上	0									
	<p>京都WWLの共同実施校（3年目）として、イノベティブなグローバル人材の育成に関する取組を積極的に行い、生徒が主体的に学ぼうとする意欲を育成し、学ぶ楽しさを実感させる。</p>	<p>ワールド・ワイド・ラーニング コンソーシアム構築支援事業（WWL）の取組について、総合的な探究の時間を軸に教科や分掌と連携して計画・実施し、生徒が国際社会で生き抜く力を育てる。</p> <p>【参加生徒の満足度】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>70%以上</td> <td>70%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満		
A	B	C	D									
90%以上	80%以上	70%以上	70%未満									
図書 視聴覚部	<p>読書活動を推進し、5つの力を基盤とした「知識に裏付けされた判断力」「豊かな表現力」「感性を磨く力」を育成する。</p>	<p>学年、分掌、教科と連携し、図書館活用機会を増やすとともに、活用内容の充実を図る。</p> <p>[授業での図書館活用回数（みらい学を除く）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80回以上</td> <td>70～79回</td> <td>60～69回</td> <td>59回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80回以上	70～79回	60～69回	59回以下		
A	B	C	D									
80回以上	70～79回	60～69回	59回以下									
	<p>P T A活動を推進し、保護者や府民の学校理解につなげる。</p>	<p>P T A活動が円滑に運営されるよう、事務局としての役割を果たす。学校行事やP T A活動について「お知らせメール（さくら連絡網）」を活用した、継続的かつ安定的な情報発信を行うとともに、機能充実に努める。</p> <p>[学校評価アンケート（保護者）のP T A活動に対するプラス評価平均]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>70～79%</td> <td>60～69%</td> <td>60%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	70～79%	60～69%	60%未満		
A	B	C	D									
80%以上	70～79%	60～69%	60%未満									
第1学年部	<p>思考力・判断力・表現力等の育成に向けて、基礎的な学力を身につけさせる（感じる力、考える力）</p>	<p>清掃や整理整頓を心がけ、学習環境を整えさせつつ、家庭学習の習慣を早期に確立させる。</p> <p>授業を大切に、予習と復習のサイクルを確立させる。また、苦手教科の克服に取り組ませる。</p>										

		〔1年生全体の評定平均値の平均〕 <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>4.2以上</td> <td>4.1～3.9</td> <td>3.8～3.5</td> <td>3.4以下</td> </tr> </table> ※評価の際は、数値目標だけでなく、生徒の様子を観察して、総合的に評価する。	A	B	C	D	4.2以上	4.1～3.9	3.8～3.5	3.4以下		
A	B	C	D									
4.2以上	4.1～3.9	3.8～3.5	3.4以下									
	自己理解を深め、自らの目標を立て、向上心を持って行動させる（行動する力、向上する力）。	読書習慣を身につけさせる。 個人面談を重視し、進路目標を明確にさせる。 部活動への積極的な参加を促す。 〔第2回進路希望調査での進路未定者数〕 <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1～6人</td> <td>7～12人</td> <td>13人以上</td> </tr> </table> ※評価の際は、数値目標だけでなく、生徒の様子を観察して、総合的に評価する。	A	B	C	D	0人	1～6人	7～12人	13人以上		
A	B	C	D									
0人	1～6人	7～12人	13人以上									
	他人を思いやり、協働する態度を育てる（関わる力）。	あいさつを奨励し、日常的なマナーを身につけさせる。 学校行事や、クラスでの活動に積極的に参加させ、集団の中での自分の役割を見つけさせる。 常に相手の気持ちを考えて、他者に優しい行動を取らせる。 〔学校生活の様々な場面で、他者と協働して取り組んだ生徒の割合〕 <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>100～90%</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table> ※評価の際は、数値目標だけでなく、生徒の様子を観察して、総合的に評価する。	A	B	C	D	100～90%	89～70%	69～50%	49%以下		
A	B	C	D									
100～90%	89～70%	69～50%	49%以下									
第2学年部	基本的な生活習慣を確立し、日々努力できる自己を形成する。	8:30の始業時には自席に着席できるようにする。 〔学期ごとの遅刻指導7回以上の人数〕 <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1～5人</td> <td>6～10人</td> <td>11人以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0人	1～5人	6～10人	11人以上		
A	B	C	D									
0人	1～5人	6～10人	11人以上									
	部活動、生徒会活動および学校行事において中心的な役割を果たし、主体的に行動できる生徒を育成する。	学校行事、クラス活動、部活動への積極的な参加を促し、集団の中での自分の役割を理解するとともに、常に相手の気持ちを考えた行動がとれるようになる。 〔学校行事やクラスの取組に協力的に参加したと思った生徒の割合〕 <table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>100～90%</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	100～90%	89～70%	69～50%	49%以下		
A	B	C	D									
100～90%	89～70%	69～50%	49%以下									

個人面談および進路探究を通じて自己理解を深め、希望進路実現に向けた環境、雰囲気づくりを行う。

個人面談、進路検討会を充実させ、進路意識の高揚をはかる。

[第2回進路希望調査-11月での進路未定者数]

A	B	C	D
0人	1～3人	4～7人	8人以上

第3学年部

希望進路の実現に向けて生徒一人一人が前向きな姿勢で歩み、自ら考え、行動する力を育てられるような進路指導を行う。

自己の課題を認識させ、短期目標を設定させるなどして、苦手科目の克服に取り組ませる。
模擬試験での得点向上を目指した学習計画を立てさせ、入試に向けての意識を高めさせる。
[学年全体の6月進研共通テ模試平均偏差値(英・数・国)]

A	B	C	D
58.0以上	55.0以上	52.0以上	52.0未満

[6月進研共通テスト模試A3以上の人数の平均(英・数・国)]

A	B	C	D
130人以上	100人以上	70人以上	70人未満

生徒との面談に重点を置き、関係分掌や教科担当者との連携を密にして、生徒の希望進路実現を図る。

[進路希望調査(4月)で国公立大を志望した生徒の国公立大合格率]

A	B	C	D
65%以上	64～55%	54～40%	40%未満

最高学年としての自覚を持たせ、周囲との関わりを大切にしながらリーダーシップが発揮できる生徒を育てる。

生徒が部活動や学校行事等に主体的、積極的に関わり、福知山高校全体を牽引することができる。
[学校評価アンケート(生徒)『部活動および学校行事』のプラス評価平均]

A	B	C	D
85%以上	84～70%	69～60%	60%未満

福知山高校に誇りを感じる生徒を育てる。
[学校評価アンケート(生徒)で『福高への誇り』の項目に関するプラス評価平均]

A	B	C	D
90%以上	89～75%	74～60%	60%未満

事務部	安心・安全な学校を維持し、管理を徹底する。	危機管理意識を持ち、危険箇所の早期発見・早期改修に努める。 [危険箇所に対する改修率] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満		
	A	B	C	D								
	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満								
学校経営方針を推進するため各分掌・教科と連携し、効果的な予算執行を行う。	各分掌・教科と連携を密にし、教育的効果のある予算執行を行う。学校経営を推進し本校教育に即した予算計画を立案し、確実に執行する。 [教科・分掌の予算執行満足度] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満			
A	B	C	D									
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満									
丁寧、的確及び迅速な窓口業務電話対応を行う。	府民との窓口になる対応を丁寧、的確及び迅速に行い、円滑な学校運営に努める。											

国語科	主体的・対話的で深い学び (AL) からの授業改善をいっそう推進すべく、指導方法の改善に努める。 新学習指導要領への対応に取り組むとともに、ICTの授業での有効活用に努める。	教科内での授業研究や学校外での研修会への参加を積極的に行い、次の事項を推進する。 ①タブレット等ICT機器の、授業での有効活用 ②新学習指導要領に即した教科指導力の向上 ③観点別評価への対応 [研修会等への年間参加回数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20回以上</td> <td>16回以上</td> <td>12回以上</td> <td>8回以下</td> </tr> </table> (R 3年度 16回)	A	B	C	D	20回以上	16回以上	12回以上	8回以下		
	A	B	C	D								
20回以上	16回以上	12回以上	8回以下									
生徒の言語文化に対する関心を深め、基本的な語彙力等の定着を図る。	基本的語彙力等の定着を目指して、小テスト等に意欲的に取り組ませる。 [漢字・現代文語彙テスト 学年平均点80%以上の学年] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>2学年</td> <td>1学年</td> <td>なし</td> </tr> </table> (R 3年度 1年87%、2年86%、3年88%)	A	B	C	D	3学年	2学年	1学年	なし			
A	B	C	D									
3学年	2学年	1学年	なし									

		<p>[古文単語・古典文法テスト 学年平均70%以上の学年]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>2学年</td> <td>1学年</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p>(R3年度 1年83%、2年87%、3年50%)</p>	A	B	C	D	3学年	2学年	1学年	なし																			
A	B	C	D																										
3学年	2学年	1学年	なし																										
地歴公民科	<p>進路実現のための学力向上と社会的役割の自覚に向けて、自立学習を確立させ、物事を主体的に考える力の育成に努める。</p>	<p>学習事項の基礎基本を確実に定着させ、生徒の学力の向上に努める。</p> <p>[3年生大学入学共通テスト平均の対全国平均値]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>+8点以上</td> <td>+6点以上</td> <td>+4点以上</td> <td>+3点未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	+8点以上	+6点以上	+4点以上	+3点未満																			
	A	B	C	D																									
+8点以上	+6点以上	+4点以上	+3点未満																										
	<p>生徒の学習意欲を高めるため、教科内で連携をとり、各人が「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に努める。また、観点別評価の実施に伴い、「指導と評価の一体化」を推進する。</p>	<p>生徒が主体的に物事を考察し、課題を発見できる教育を進める。</p> <p>[発展的な課題発見授業・講演会等の実施数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>7回以上</td> <td>6・5回</td> <td>4・3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </table> <p>「主体的・対話的で深い学び」のための効果的な指導方法の確立に向けて研究授業を実施し、研究協議を行う。</p> <p>[テーマに関する研究授業と研究協議の実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8回以上</td> <td>7回</td> <td>6回</td> <td>5回以下</td> </tr> </table> <p>[授業アンケート『先生の教え方に工夫が感じられ、自分自身の理解が深められている』の自己評価の平均]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3.6以上</td> <td>3.0～3.5</td> <td>2.5～2.9</td> <td>2.4以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	7回以上	6・5回	4・3回	2回以下	A	B	C	D	8回以上	7回	6回	5回以下	A	B	C	D	3.6以上	3.0～3.5	2.5～2.9	2.4以下			
A	B	C	D																										
7回以上	6・5回	4・3回	2回以下																										
A	B	C	D																										
8回以上	7回	6回	5回以下																										
A	B	C	D																										
3.6以上	3.0～3.5	2.5～2.9	2.4以下																										
数学科	<p>主体的な態度で粘り強く学習に励む生徒を育成し、希望進路に対応できる学力を養成する。</p>	<p><1年生> 学習状況の把握と丁寧な指導を行い基礎学力の定着を図る。</p> <p>[全員模試の平均偏差値の差(1月-7月)]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3～0</td> <td>0～-3</td> <td>-3未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3以上	3～0	0～-3	-3未満																			
		A	B	C	D																								
3以上	3～0	0～-3	-3未満																										
	<p><2年生> 学習方法を指導することにより、個</p>																												

		<p>々の学習スタイルを確立させ、主体的に学習に励む生徒を育てる。</p> <p>[全員模試の平均偏差値の差(11月-7月)]</p> <table border="1" data-bbox="786 209 1352 284"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3~0</td> <td>0~-3</td> <td>-3未満</td> </tr> </table> <p><3年生> 日々の授業に加え、共通テスト対策演習や「にじゼミ」等により、希望進路実現に必要な学力を充実させる。</p> <p>[大学入学共通テスト 数学IA 対全国平均]</p> <table border="1" data-bbox="786 496 1352 571"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>4点以上</td> <td>4~2点</td> <td>2~0点</td> <td>0点未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3以上	3~0	0~-3	-3未満	A	B	C	D	4点以上	4~2点	2~0点	0点未満			
A	B	C	D																		
3以上	3~0	0~-3	-3未満																		
A	B	C	D																		
4点以上	4~2点	2~0点	0点未満																		
	<p>学習意欲を高める指導の工夫と改善を推進する。</p>	<p>ICTの活用についての交流を図る。</p> <table border="1" data-bbox="786 635 1352 710"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>図れた</td> <td>まあまあ図れた</td> <td>あまり図れなかった</td> <td>図れなかった</td> </tr> </table>	A	B	C	D	図れた	まあまあ図れた	あまり図れなかった	図れなかった											
A	B	C	D																		
図れた	まあまあ図れた	あまり図れなかった	図れなかった																		
<p>理 科</p>	<p>各生徒の希望進路の実現に向け、基礎学力の定着並びに思考力、判断力、表現力の育成に努める。</p>	<p>基礎学力を確実に定着させ、生徒全員の進路保障に努める(3年生)。また積極的な授業改善や個に応じた指導内容の工夫を行い、希望進路に応じた学力の充実に努める(1・2年生)。</p> <p>[大学入学共通テストの対全国平均点]</p> <table border="1" data-bbox="786 911 1352 986"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>9点以上</td> <td>5点以上</td> <td>3点以上</td> <td>3点未満</td> </tr> </table> <p>1年生においては教科内だけでなく他教科とも実践事例や情報を共有し、学習用端末の活用を推進する。</p> <p>2・3年生においては来年度以降の導入に向けて活用の準備をすすめる。</p> <p>[1年生で学習用端末を活用した授業の割合]</p> <table border="1" data-bbox="786 1230 1352 1305"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>60%以上</td> <td>40%以上</td> <td>20%以上</td> <td>20%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	9点以上	5点以上	3点以上	3点未満	A	B	C	D	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満			
A	B	C	D																		
9点以上	5点以上	3点以上	3点未満																		
A	B	C	D																		
60%以上	40%以上	20%以上	20%未満																		
	<p>「スーパーサイエンスネットワーク京都」指定校としての取組を生かした本校独自の科学研究プログラムを推進する。</p>	<p>外部機関主催の科学コンテストやフェスティバル、校内における特別講義や各種研究活動等への参加協力体制を組む。</p>																			

		[各事業に対する平均生徒満足度（4段階）]													
		A	B	C	D										
		3.7以上	3.4以上	3.1以上	3.1未満										
保健体育科	<p><体力の向上を図る> 本校生徒の体力は、京都府平均と比較しても、筋力・柔軟性について劣る傾向があるため、体育授業及び体育的行事により体力の向上を目指す。</p>	<p>年間を通じた体力向上をねらいとし、補強運動やトレーニング的な動作及びストレッチや柔軟運動を意識した授業を推進する。 [各学期の授業時において、上体起こしを測定（1・2年男女）し、4月のスポーツテスト時から上昇した人数割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50%以上</td> <td>49～40%</td> <td>39～30%</td> <td>29%以下</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	50%以上	49～40%	39～30%	29%以下		
	A	B	C	D											
	50%以上	49～40%	39～30%	29%以下											
<p><新学習指導要領に即した授業改善> 積極的にICTの活用するなど、効果的な授業方法を検討し。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す。</p>	<p>それぞれが行った改善点について科内で共有し、目指す力の育成に効果的な授業方法について検討する。 [教科会議等で授業改善について検討した回数(年間)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31回以上</td> <td>21～30回</td> <td>11～20回</td> <td>10回以下</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	31回以上	21～30回	11～20回	10回以下			
A	B	C	D												
31回以上	21～30回	11～20回	10回以下												
<p><運動部活動の活性化> 部活動を通して自己管理能力の育成を図るとともに、責任感、連帯感の涵養、好ましい人間関係を育成し、自己肯定感を高める。</p>	<p>福知山高校運動部としての意識を高め、日常生活において挨拶や礼儀等を身に付けるなど、他の模範となる質の高い集団となるよう働きかける。 [年間運動部集会の回数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回以上</td> <td>9～7回</td> <td>6～3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	10回以上	9～7回	6～3回	2回以下			
A	B	C	D												
10回以上	9～7回	6～3回	2回以下												
芸術科	<p>芸術に関わる幅広い活動を通し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てると共に、感性を高め芸術の諸能力や技能を伸ばし、芸術文化に対する理解を深め、豊かな情操を養う。</p>	<p><音楽> 音楽の幅広い活動を通して生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽・音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。 [授業アンケートより、「分かった」「できた」と思うことがよくある生徒の割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～40%</td> <td>39%以下</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	39%以下		
	A	B	C	D											
80%以上	79～60%	59～40%	39%以下												
	<p><美術> 鑑賞・表現の授業改善を行い、見方や感じ方を深め生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。</p>														

		<p>[表現の授業において、ICTを活用した授業改善を行った回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回以上</td> <td>9～7回</td> <td>6～3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	10回以上	9～7回	6～3回	2回以下		
A	B	C	D									
10回以上	9～7回	6～3回	2回以下									
		<p>〈書道〉 主体的・対話的で深い学びの中から、本校が目指す生徒像を目標に、生徒の育成が推進できるよう授業改善に努める。授業内容と指導方法の改善により生徒の達成感を高める取組を推進する。 [授業アンケートより、「分かった」「できた」と思うことがよくある生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～40%</td> <td>39%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～40%	39%以下		
A	B	C	D									
80%以上	79～60%	59～40%	39%以下									
英語科	<p>多様かつハイレベルな進路希望に対応できる基礎から応用までの幅広い学力を養成する。</p>	<p>家庭学習指導の徹底、課題への取組、模試の復習を通じて、学力の向上を図る。 [3年生共通テスト平均点の対全国平均値] *リーディング100点+リスニング100点 計200点満点</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>+16点以上</td> <td>+15～8点</td> <td>+7～0点</td> <td>マイナス</td> </tr> </table>	A	B	C	D	+16点以上	+15～8点	+7～0点	マイナス		
A	B	C	D									
+16点以上	+15～8点	+7～0点	マイナス									
	<p>「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、生徒の確かな学力を育むための授業改善に取り組む。</p>	<p>新学習指導要領に即した授業や評価を実践し、ICT機器を効果的に利用して、体系的に指導をすすめるため、教科内で一致して研修を進める。 [新学習指導要領やICT活用に関する教科内研修の回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6回以上</td> <td>5～4回</td> <td>3～2回</td> <td>1回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6回以上	5～4回	3～2回	1回以下		
A	B	C	D									
6回以上	5～4回	3～2回	1回以下									
家庭科	<p>実践的・体験的な学習活動を通して、主体的に生活を創造する資質・能力の育成に向けた指導の工夫改善を図る。</p>	<p>授業ごとのねらいを明確にし、実習等の実践的体験的な活動や問題解決的な学習の充実を図るとともに5K力に基づいた振り返りを行う。 [5K力に基づいた振り返りの実施回数(割合)]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～50%	49%以下		
A	B	C	D									
80%以上	79～60%	59～50%	49%以下									

		<p>「子育て学習プログラム」の実施を通して生徒の出産・子育て・人生設計について生徒の変容が見られる授業の工夫を行う。</p> <p>[意識の変容が見られたと解答した生徒(割合)]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～60%</td> <td>59～50%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～60%	59～50%	49%以下		
A	B	C	D									
80%以上	79～60%	59～50%	49%以下									
情報	<p>情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度、課題や目的に応じた情報手段の適切な活用ができる能力を養う。また、受け手の状況などを踏まえた発信や伝達、社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解させる。</p> <p>大学入学共通テストの教科「情報」への対応について教科研修を実施する。</p>	<p><1年生> 情報Ⅰ</p> <p>(1)情報の活用と表現 情報の特徴とメディアの意味、デジタル化された情報を統合的に扱えること、及び情報の表現と伝達の方法を習得させる。</p> <p>(2)情報通信ネットワークとコミュニケーション コミュニケーション伝達の手段の発達、ネットワークの仕組みと活用方法を理解させる。</p> <p>(3)情報社会の課題と情報モラル 情報化が社会に及ぼす影響、情報セキュリティの確保、情報社会における法と個人の責任を理解させる。</p> <p>(4)望ましい情報社会の構築 社会における情報システム、情報システムと人間、情報社会における問題の解決について考えさせる。</p> <p>(5)プログラミングの原理と手法 プログラミングを用いてアルゴリズムを理解する。</p> <p>[情報の活用について理解できたと回答した生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>70～79%</td> <td>60～69%</td> <td>59%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	70～79%	60～69%	59%以下		
A	B	C	D									
80%以上	70～79%	60～69%	59%以下									

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--